

2024 年度学習時間等に関する調査について（総評）

2024 年度の調査はコロナ禍の状態から引き続いて Web を用いたアンケートを実施している。

2024 年度の特徴としてまずあげられるのは、コロナ禍前の傾向とあまり変化のないものとなった。これは 2020 年に発生したコロナ禍の終息によりオンデマンド授業から完全対面授業へと移行したことによるものと考ええる。

全体的に見ると、例年同様【授業・実習】と同等あるいはそれ以上の時間を、【アルバイト・仕事】や【趣味活動】に費やしている様子がうかがえる。単位制度の趣旨に基づき、学生の授業受講時間数や、授業外学習時間数を適切に確保するため、カリキュラムや授業方法の見直し、オンラインを積極的に用いた授業外学習を促すための工夫など、今後も教育改善に努めていく必要がある。